

Deltapath[®] Connector[™]

複数のコミュニケーション手段を連携することで、“より簡単に”、“より効率的な”コミュニケーションの実現をサポートします。

組織が大きくなることは、一方でそれを支えるさまざまグループやチームが必要となってきます。そして、それぞれのグループが異なるコミュニケーション手段を利用することで相互運用性がはかれず、生産性に影響を与えることも少なくありません。

Deltapath Connector は、このような問題の解決をサポートします。各コミュニケーションに使用されるシステムやデバイスを Deltapath Connector によるオンプレミスコントロールによって統合し、シームレスな連携ソリューションを実現します。

Better Access. Better results.

より効率的なコミュニケーションで生産性の向上をサポート

Deltapath は企業内におけるコラボレーションの大切さを理解しています。そのため、Deltapath Connector は、将来にむけて企業内のあらゆる部署やスタッフがいつでもつながれるように準備していきます。



インテグレーション

ほとんどの組織は、すでにカスタマーやサプライヤーなどと互いにコミュニケーションをとるために複数のツールを導入しています。Deltapath Connector は異なる通信規格間のコミュニケーションツールをシームレスに行う事を可能にするインフラストラクチャーを提供します。この相互運用性により、ユーザビリティの向上と投資の最大化を実現します。Deltapath Connector の利用で、Zoom、BlueJeans、Lifesize、Webex などのビデオサービスプロバイダーとの接続が可能になります。

Dolby ボイスによる音声会議ブリッジ

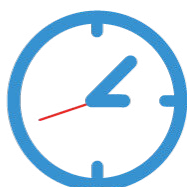
音声会議の利用が広がる中で、音声会議ブリッジサービスを提供する会社も増えてきました。しかしながら、そのサービスは安価なものではなく、かつHD (高品質)音声で提供されていないケースも少なくありません。Deltapath Connector は音声会議ブリッジの機能を搭載しているので従来の音声会議ブリッジサービスへの支払いを節約することが可能になります。音声会議ブリッジの利用を無料化することに加えて、HD 音声での会議の開催、Dolbyボイスによるノイズキャンセレーション機能の利用、そして最大32名までの参加者の会議も実現します。

企業の多くは音声会議ブリッジサービスに多額の支払いをしています



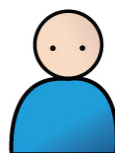
平均的な市場価格

x



時間 (分)

x



参加人数

平均的な音声会議



1 コール

x



1時間

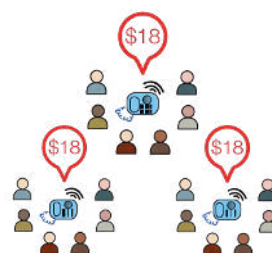
x



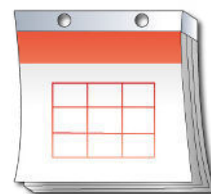
6名の参加者

さらに！

1コール 1日



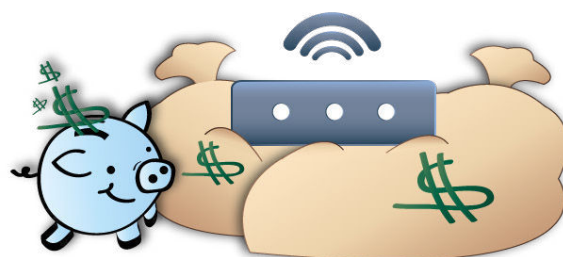
260 ビジネスデー



180万円 年間！

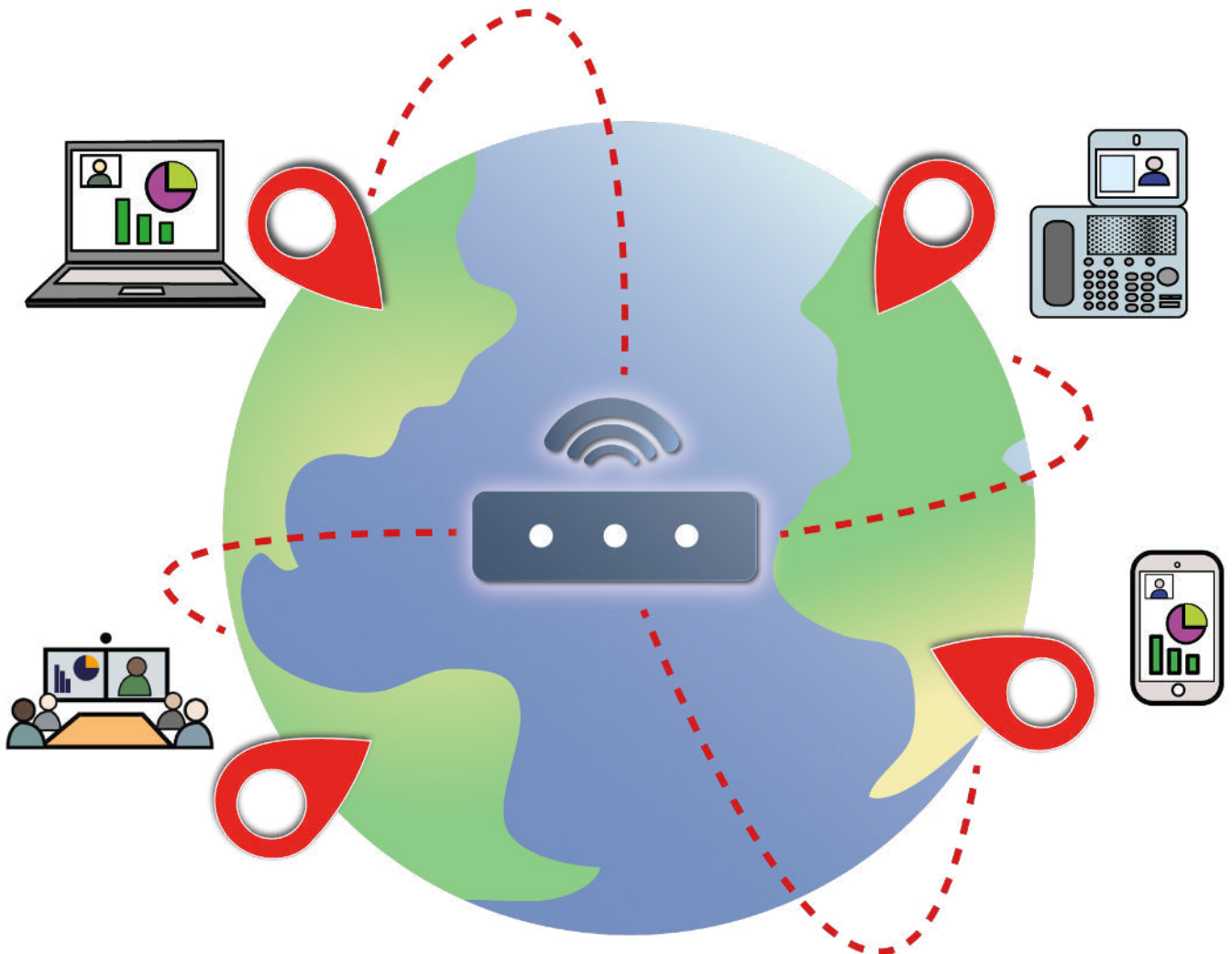


Deltapath Connector™ で音声会議ブリッジサービスの 経費削減を実現



統合されたひとつの組織

単なるコミュニケーションやコラボレーションではありません。ビデオコラボレーションによる生産性の向上、意思決定の迅速化、リアルタイムでのカスタマーやチーム内での資料の共有、そして最も重要な事が関係を構築し維持する事です。



モバイルコラボレーション

Polycom® RealPresence® DesktopやPolycom® RealPresence® Mobileを導入する事で、カスタマーやチームとつながるモバイルビデオコラボレーションを、いつでも、どこからでも実現することができます。

カメラコントロール

ビデオ会議参加者が話者やホワイトボードに書かれた情報が見えないからといって会議をさえぎることはもうありません。ファーストカメラコントロール (FECC) によってカメラをズームアップしたり、パン・チルトする事で、リモートの会議参加者は最適なカメラアングルを自身でコントロール可能となる為、会議をより効果的に進める事ができます。

プラグアンドプレイ

互いにつながるといことはチームワークを構築する上で重要な要素です。Deltapath Connectorは、全てのチームメンバーが自宅やリモートオフィスなど、どこからでもつながり、協業することを可能にします。そして、プラグアンドプレイで簡単につながるので、IT担当者のサポートは必要ありません。

質の高いコラボレーション

海外にある製造会社の担当者とはただ会話しているだけでなく、高画質で製品のプロトタイプを見せながら会話をしている事を想像してみてください。コンテンツシェア機能により、カスタマーやサプライヤーそしてチームメンバーとの間でリアルタイムに資料や映像データを共有する事が可能です。タブレットを使用する事で、ホワイトボードを使用したビデオ会議の開催や、タブレットの画面上で直接書き込む事も出来ます。

既存の投資を保護しつつ将来への拡張性を実現

Deltapath Connectorは将来に向けて拡張可能なオールインワンデバイスで、ファイヤーウォール、セッションボーダーコントロール (SBC)、音声会議ブリッジ、SIP Proxy、コールルーティングエンジン、エンドポイントプロビジョニングサーバーの機能を提供します。

また、Deltapath Connectorは、パスワード認証機能付きH.323ゲートキーパーの機能も有しています。このことは既存の投資を無駄にすることなく、将来に向けての投資を最大化することを意味します。

エンドオブライフ (EOL) となったPolycom Video Border Proxy (VBP) をお使いのケースではDeltapath Connectorをその代わりに使用することが可能です。社内および顧客やパートナーとのビデオコラボレーションを引き続きご利用ください。

よりシンプルに

Deltapathは、職場の環境を変える必要があること、また一方で、そこで働く人にとってその変化を受け入れる事が難しいという事実も理解しています。Deltapath Connectorは、そこにある複雑な事を取り去り、すべてをシンプルに変えるサポートをします。



内線番号や部屋番号による発信

Deltapath Connectorは、Polycom社のビデオ会議ユーザーがIPアドレスや他の複雑な方法でのダイヤル発信の手間を省きます。Polycom社のビデオ端末をDeltapath Connector上に内線番号として登録する事で、ビデオ会議を電話のように使いやすくします。

利便性の向上

音声会議はあらゆる組織にとってビジネスを成功に導くための重要なコミュニケーション手段です。しかし、従来の音声会議では、その設定に複雑なプロセスが必要だったり、予約時間内で十分な議論ができなかったりすることがありました。Deltapath Connectorは、全てのユーザーに個人の会議室をわり与えることで、事前予約なしでいつでも会議を開催することを可能にします。

Polycomインフラストラクチャーと電話回線の接続

通常の電話回線しか利用していないカスタマーやサプライヤーと会議をしたいと考えたことはありませんか。また、社内の電話システムへ個人のビデオデバイスから電話をかけたいと思ったことはありませんか。Deltapath Connectorは、そのようなネットワーク上の問題をを超えて、Polycomビデオネットワークと音声ネットワークのシームレスな統合を実現します。



セキュリティ

セキュリティは常に Deltapath にとっての優先課題のひとつです。会議では重要な機密情報が話し合われ、共有されていることを理解しています。Deltapath は、高度なセキュリティ機能を利用してハッカーや盗聴者が会議内の重要事項にアクセスできないようにしています。

ワンタイムゲストアクセス

多くの電話会議において、会議に参加するための詳細なアクセス情報を保持していれば会議に参加することは可能です。しかし、このアプローチは脆弱性を高め、盗聴者の機密情報へのアクセスを許すことにもつながります。Deltapath Connector は、通常の電話や SIP ベースのビデオ会議端末を使用している外部からの会議参加者へワンタイム会議アクセスコードを生成します。参加者は会議に参加するためにはそのアクセスコードが必要になります。この仕組みにより、アクセスコードを持たない盗聴者の会議への参加を防ぐ事が出来ます。参加者またアクセスコードは指定された会議以外では利用できないだけでなく、スケジュールされた時間帯以外は有効ではありません。

セキュアプロビジョニング

全ての組織は外部へ開示できない重要で機密性の高いデータを保護しています。Deltapath Connector は、外部からのアクセスに対して暗号化する事で、情報を保護します。また、Polycom 端末のプロビジョニングデータも暗号化します。これにより、外部にあるデバイスは WAN 上で暗号化されたフォーマットでプロビジョニングデータをダウンロードします。

公衆インターネット上の脅威へのセーフガード

全ての組織は、ハッカーや盗聴者の継続的な攻撃から身を守る必要があります。Deltapath はマルウェアによる攻撃がインターネットやウェブでの一般的な方法だと認識しています。ビデオネットワーク上の WAN アクセスポイントを有効にした際の懸念事項に対処するために、Deltapath Connector は悪質なパケットを自動的にフィルタリングすることが出来るファイアーウォール機能を提供します。また内蔵の SIP アプリケーションファイアーウォールがインターネットと Deltapath Connector 間の全ての SIP ダイアログを検査、監視します。総当たり攻撃や番号推察、また application layer denial-of-service attacks などアプリケーションファイアーウォールによって迅速にフィルタリングされます。すべてにおいてネットワークのポートロギーは、外部からマスクされ保護されます。



データシート

機能

Dolby Voice

- » スタジオ音声品質
- » 最大4.5m内の音声を認識
(ハードウェア依存)
- » 空間音声分離によって話者の音声をより鮮明に伝達
 - ・ 音声が別々に聞こえる
 - ・ 音声が重ならない
- » 業界で一般的に使用されるHDコーデックと比較して低帯域を実現
 - ・ 平均帯域使用: 上り 12.46 kbps / 下り 47.71 kbps
 - ・ 最大時帯域使用: 上り 49.36 kbps / 下り 128.03 kbps

音声とアコースティック

- » 音声と音響の変化に対応・調整-ソフト-ディスタントボイス

音声抑制アルゴリズムは、以下のタイプのノイズ用に設計:

- » 定常/一定のノイズ
- » 非定常ノイズ源
- » 衝撃的/時変ノイズ源
- » 非音声ノイズ
- » 音声のようなノイズ抑制

音声抑制は次の要素で構成:

- » ノイズ評価
 - ・ 部屋での話し手の前でノイズの評価
- » ノイズの抑制
 - ・ 音声への影響を最小限に抑えながら抑制ゲインの計算をします
- » ノイズの排除
 - ・ 音声を妨げるノイズの排除
- » 抑制ゲイン平滑化
 - ・ アーティファクトを最小限に抑えるために抑制ゲインを平滑化します
- » 音声アクティビティ検出
 - ・ マイク信号を送信するかどうかを決定するゲートとして機能します

オールインワンアーキテクチャー

- » ITインフラの簡素化
- » 優れたユーザーエクスペリエンスとより低い運用コストの実現
- » 以下の機能を含む: ファイヤーウォール、セッションボーダーコントローラー (SBC)、音声会議ブリッジ、SIP Proxy、コールルーティングエンジン、エンドポイントプロビジョニングサーバーファイヤーウォール

ビデオ/音声 バーチャルミーティング

- » 会議スケジューリングツール
- » 音声会議ブリッジアクセス: RMX, HDXシリーズ, Groupシリーズ, RealPresence Trio, VVX
- » PSTN およびIP経由での会議アクセス
- » 以下の会議形態をサポート
 - ・ 1:1 通話
 - ・ パブリック会議室
 - ・ Polycom RMX 仮想会議室
 - ・ 個人専用会議室
 - ・ Skype for Business Gateway仮想会議室
 - ・ ワンタイム音声会議室の生成
- » 会議招待Eメールテンプレート
- » EメールによるICSフォーマットカレンダーでの会議招待
- » SIP URLダイヤルイン

※ビデオの多地点会議に転送する場合は、Polycom RMXや Skype for Business Gateway が別途必要になります。

API

- » Trio Connectorとの統合の可能性
- » 仮想会議
 - ・ 仮想会議の追加
 - ・ 仮想会議情報の更新
 - ・ 仮想会議のキャンセル
 - ・ 仮想会議の詳細へのアクセス
- » 音声会議室
 - ・ 新しい会議の生成
 - ・ 会議情報の更新
 - ・ 会議参加者リストの取得
 - ・ 会議キャンセル
 - ・ 会議参加者の招待
 - ・ 会議室のロック/アンロック
 - ・ 会議の参加者のミュート/アンミュート
 - ・ 会議室からの参加者の退出

音声会議

- » 内蔵音声会議ブリッジ
- » 高音質による明瞭な音声
- » ワイドバンド/ナローバンドコーデックミキシング
- » 会議毎の参加者数制限の設定
- » 最大会議参加者数: 32
- » 参加者の入退時の名前のアナウンスによるアラート
- » 参加者毎の音量調整とミュートボタン
- » 会議開催者(ホスト/リーダー) 向け管理コントロール
- » アクセスモード:
 - ・ カンファレンスパスワードによる専用プライベート会議アクセスモード
 - ・ カンファレンスルームおよびパスワードによるパブリック会議ブリッジアクセス
- » グローバル会議ブリッジ
 - ・ 相互接続されている全ての Deltapath Connector 上でのグローバル会議ブリッジによる相互通話
- » ユーザーポータル
 - ・ 個人またはグループをカンファレンスへ招待
 - ・ 会議参加者のミュート/アンミュート
 - ・ 参加者の切断
 - ・ 会議のロック
 - ・ 参加者オプション:
 - ◻ 聞取りのみ
 - ◻ 会話のみ
 - ◻ 聞取りおよび会話
 - ◻ 参加時の自動ミュート
 - ◻ ホストとしての会議参加
 - ・ ワンクリックによるグループ招待

機能対応チャート

	ビデオエンドポイント				
	RealPresence Desktop	RealPresence Mobile (Phone)	RealPresence Mobile (Tablet)	RealPresence Group	HDX
ホワイトボード/ ブラックボード			✓	✓ ✓	✓ ✓
コンテンツへの アノテーション			✓	✓ ✓	✓ ✓
複数フォーマットによる コンテンツ共有	✓		✓	✓	✓
コラボレーティブ ブラウジング	✓		✓	✓	✓
People+Content IP によるデュアル表示	✓	✓◇	✓	✓	✓
相手先カメラの コントロール	✓		✓	✓	✓

✓ ✓ Polycom VisualBoard もしくは UC Board が必要になります

✓◇ ビューの切り替え

コールレコーディング

- » 音声会議録音
 - ・録音された会議の詳細の巻き戻し
 - ・会議議事録の消去
 - ・ノート追加
- *レコーディングモジュールの購入が必要になります

コールマネージメント

- » ユーザー毎のコールアドミッションコントロール
- » アウトバウンド発信者ID設定:
 - ・ユーザー毎
 - ・SIPトランク毎
 - ・非表示
 - ・カスタム
 - ・デフォルト
 - ・オリジナル
- » 1台の電話機に複数内線番号を設定
- » 1つの内線番号を複数の電話機で共有
- » モバイル/固定電話のペアリング
- » 連絡先からの発信操作

PSTN/PBX 統合

- » キャリアとのSIPトランク用 SBC
 - » オプション:
 - ・SIPトランク経由でのサードパーティー製 SIP PBX とのインターフェース
 - ・PRI、BRIやCOを使用したキャリアとのインターフェース※
 - ・レガシーPBXや電話会社とのインターフェース※
- ※別途ゲートウェイが必要
- » 複数のDID番号レンジのサポート
 - » 発信者ID操作
 - » 接続先による優先ISDNポートルーティング

SIP レジスターおよび Proxy

- » 内線および部屋番号でのダイヤル
- » マルチステップダイヤルプランルーティング対応
- » SIPビジネスtoビジネスコール
- » Dual Stream People + Content (BFCP) RFC 4582 & RFC 4583
- » ファーエンドカメラコントロール RFC4573

コーデック

- » 自動的に最適なコーデックを選択
 - ・G722.1C (Polycom® Siren™ 14)
 - ・G722.1 (Polycom® Siren™ 7)
 - ・G722
 - ・G711A
 - ・G711U
 - ・G729A (Pass thru)
 - ・iLBC
 - ・H.264
 - ・H.264-HP
 - ・H.264-BP

システムアドミニストレーション

- » ブラウザーベースインターフェースでの設定・管理
 - ・システムレベルマネージメント
 - ・ユーザーマネージメント
 - ・マルチテナント アドミニストレーターマネージメント
- » マルチプルネットワークディプロイメントオプション
- » Microsoft Excel 利用による一括インポート/エクスポート
- » CLI コンソールおよびSSHアクセスによるネットワークアサインメント
- » IPV4
- » IPV6 Ready
- » DHCP
- » スタティックルーティング
- » 仮想 IP (WANポート転送)
- » デフォルトルーティング
- » QoS priority
- » SSH
- » Serial craft RJ-45
- » 6 x GB RJ45 LAN Ports

H.323 ゲートキーパー

- » H.323のみ対応ビデオ端末との下位互換対応のH.323ゲートキーパー
 - ・ インターネット上の端末から内部端末へH.323プロトコルで通話
- » H.323 ビジネスtoビジネスコール
- » H.239 コンテンツ共有
- » H.224 FECC 対応

多言語対応

- | | | |
|----------------|---------|----------------------|
| » ユーザーポータル | » 対応言語: | |
| » スイッチボードポータル | ・ 日本語 | ・ 広東語 |
| » システムボイスプロンプト | ・ 英語 | ・ マンダリン
(北京語/普通語) |

サポートエンドポイント、及びサーバー

- » Polycom RealPresence Group Series
- » Polycom HDX Series
- » Polycom VVX Business Media Phones
- » Polycom SoundPoint IP and SoundStation IP Phones
- » Polycom RealPresence Collaboration Server (RMX)
- » Polycom RealPresence Desktop (RPD)
- » Polycom RealPresence Mobile (RPM)
- » Polycom RealPresence Distributed Media Application (DMA)

セキュリティと暗号化

- » SSL 認証管理
- » 管理およびユーザーインターフェースの HTTPS/HTTP サポート
- » Polycomセキュアプロビジョニング:
 - ・ Polycomデバイスプロビジョニング
- » Polycomエンドポイントプロビジョニング対応
- » Polycomデバイスプロビジョニング:
 - ・ ディプロイメントモード
 - ・ プロダクションモード
- » ファイヤーウォールセキュリティコントロール/保護
 - ・ パケットフィルタリング
 - ・ DOS アタック 自動レートコントロール
 - ・ 送信元 IP による自動ブラックリスト
 - ・ VoIP セッションアウェアファイヤーウォール
 - ・ ディバッグロギングおよびシステムオーディットトリアル
 - ・ 新規ブラックリストエントリーによるEメールアラート

信頼性と可用性

- » 2ユニットによるクラスタリング
- » アプリケーション、サービス、ディズアスターリカバリーの可用性の拡大
- » フェールオーバー時のIPアドレスシェア

診断ツールとリアルタイムモニタリング

- » ISDN Q.931 シグナリングメッセージ
- » PRI および BRI のポートステータスと統計情報
- » Ethernet ポートステータスと統計情報
- » Ping
- » DNS チェック
- » ルーティングトレース
- » Wireshark キャプチャー
- » IP パケットトレース
- » グローバルおよびユーザーのリアルタイムコールアクティビティトレース
- » リアルタイムでの診断メール発行
- » キューに保有中のメールの確認
- » リアルタイムの Polycom 電話機プロビジョニングデバッグ
- » SIP トランク対応およびメールによる遅延モニタリングアラート
- » アラーム履歴
- » Eメールによるアラーム通知
- » クリティカルアラームの LED 表示

詳細レポート

- » コール詳細レポート (CDR) とリスト
 - ・ 全体システム内のインバウンド/アウトバウンドコールのキャプチャ
 - ・ コールレポートの生成 - ユーザー、グループ、SIPトランク、ゲートウェイ、全員
 - ・ 日付、時間、ユーザー、SIPトランク、ゲートウェイによる要約
- » 会議レポートとアクティビティログ
 - ・ ビジュアライジングセービング
 - ・ 会議通話詳細とログのキャプチャー
 - ・ 特定の会議室および前会議室のレポート生成
 - ・ 日付、時間、ユーザー、会議室による要約
- » システムレポート
 - ・ 設定済電話番号と利用可能な電話番号のサマリー表示
 - ・ ユーザーと端末タイプの定義付け

仕様

仕様	モデル			
	 Golden Gate Edition	 Tower Edition	 Brooklyn Edition	 Great Belt Edition
フォームファクター/ディメンジョン	19インチラックマウント 1U High 443 (W) x 406.8 (D) x 44 (H) mm	19インチラックマウント 1U High 443 (W) x 406.8 (D) x 44 (H) mm	19インチラックマウント 1U High 443 (W) x 406.8 (D) x 44 (H) mm	19インチラックマウント 1U High 434 (W) x 606.5 (D) x 42.8 (H) mm
電源	冗長化なし	冗長化 1 + 1 ホットスワップ電源モジュール	冗長化 1 + 1 ホットスワップ電源モジュール	冗長化 1 + 1 ホットスワップ電源モジュール
消費電力	AC-Input Rating: 100V-240V Input Current: 2.5A-1.5A Output Power: 150 W (最大)	AC-Input Rating: 100V-240V Input Current: 5A-2.5A Output Power: 300W (最大)	AC-Input Rating: 100V-240V Input Current: 5A-2.5A Output Power: 300W (最大)	AC-Input Rating: 100V-240V Input Current: 7.4A-3.7A Output Power: 550W (最大)
データストレージ (SSD)	- Internal Solid State Drive 1500 Hrs. of voice data 300 Hrs. of video data	- Customer Accessible Solid State Drive with Raid 1 20,000 Hrs. of voice data 4,000 Hrs. video data	- Customer Accessible Solid State Drive with Raid 1 30,000 Hrs. of voice data 6,000 Hrs. of video data	7.2 K RPM NLSAS Hard Drive with RAID 1 60,000 Hrs. of voice data 400 Hrs. of 1080P video data
クーリングシステム	3 Autosensing Fans	4 Autosensing Fans	4 Autosensing Fans	5 Autosensing Fans
ステータス/アラート	8 Status LEDs	14 Status LEDs + 1 Audio Alert	14 Status LEDs + 1 Audio Alert	1 Status LED + 1 Audio Alert
MTBF	109,500 時間	142,900 時間	142,900 時間	142,900 時間
接続端末数	最大200	最大1,500	最大6,000	最大10,000
メールボックス数	256	3000	8000	10,000
会議室数	256	3000	8000	10,000
IVRメニュー数	256	3000	8000	10,000
同時通話数 (コンカレントコール)	32通話	256通話	512通話	1,000通話
最繁忙時呼数	6000	100,000	200,000	200,000
イーサネットインターフェース	6 x RJ45 Connectors supporting 10/100/1000 Half/Full Duplex	6 x RJ45 Connectors supporting 10/100/1000 Half/Full Duplex	6 x RJ45 Connectors supporting 10/100/1000 Half/Full Duplex	2 x RJ45 Connectors supporting 10/100/1000 Half/Full Duplex + 2 x RJ45 Connectors supporting 1000/10000 Half/Full Duplex

デルタパスについて

デルタパスは、多くの企業、また様々な業種・団体のお客様へユニファイド コミュニケーションソリューションを提供しています。

音声・ビデオ通話によって、いつでも、どこからでも、どのようなデバイスでも距離を感じることなくビジネスコミュニケーションやコラボレーションを実現します。

デルタパスソリューションは、医療、教育、製造、コンタクトセンター、サービスオフィス、電気通信、小売および卸売、エンターテインメントビジネス、公共機関など、さまざまな業界のお客様からのサポートを基盤として、94カ国で利用されています。

お問い合わせ

Deltapath Connector の詳細はデルタパスの担当セールスもしくは弊社販売代理店へお問合せください。



JP	+ 81 3 3527 7899
USA	+ 1 408 707 3299
NZ	+ 64 886 9799
HK	+ 852 3678 9999
TW	+ 886 2 7728 3099
PH	+ 63 2 8790 0295

jp.deltapath.com